



昨年度の特別講演者 嶋津健一氏(11期)



懇親会はRISTORANTE ATTIMOで開催

ごんた坂

第25号

光陵高校同窓会会報

〈発行所〉神奈川県立光陵高等学校光陵会

〈印刷所〉SALAT 株式会社 サラト



©大場あゆみ



夢と光陵

会長 太田 秀和(2期)

我々2期生は68歳になりました。同期の皆さんを見渡すと、もう半数以上が仕事からリタイアしています。今でも働いている人はオーナー経営者か働くことが好きか、家に終日居られない人達などです。

可能性に満ちた若い頃、「夢」は大切なものでした。私は大学を出てサラリーマンになりました。大学時代の友人もほとんどがサラリーマンになりました。サラリーマンや組織の一員になるのを卑下する風潮も一部にあるかもしれませんが、いろいろな世界を見たり、大きな仕事を任せていただいたり、自分を成長させてくれた私は思っていますし(もちろん理不尽なこともありましたが…)、企業で働く仲間も皆輝いていました。皆、「夢」があったはず。ところが、そんな仲間も今はただの高齢者。もう68歳という年齢からくるものなのか、私個人にとっては若い頃の大きな「夢」は、実現可能な現実の小さな楽しみに置き換えられてしまいました。仲間と会い食事をし、読書をし、映画を見、博物館・美術館・図書館をめぐり、旅行をし、コンサート・

ライブ・演劇を楽しむ。自分自身で創造できない残念さではありますが、素晴らしい人達が努力して創造したものを見聞きすることは思考や感性の喜びを与えてくれます。これもきっと私の「夢」なのでしょう。

さて、私の大学時代の友人に比べて光陵の仲間はいろいろな分野の人達がいるように思います。光陵会はそういう仲間と出会う場でもあるのです。毎年開かれる光陵会の総会では、卒業生による特別講演があります。大学生である事務局の皆さんが、各界で活躍する先輩の中からお話を聴いてみたい候補者を挙げ、その希望に基づいて先輩のスタッフが候補者ご本人にアプローチして特別講演が実現します。毎回、毎回素敵な講師が登場し、総会出席の皆さんを楽しませ、さまざまな刺激を与えてくださいます。今年は2期、22期、32期、42期が卒業10年ごとのアニバーサリー期になります。講師もアニバーサリー期の先輩の中から選ばれたはず。今年はどなたのお話がうかがえるのか今から楽しみです。これも今の私の「夢」の一つなのかもしれません。

総会の後には懇親会もありますが、その後、同期会、クラス会を開くのもよいでしょう。仲間達と楽しい時間を過ごしてください。光陵会を運営してくださっている事務局の皆さんに感謝の気持ちでいっぱい。(*新型コロナウイルスの感染拡大防止を考慮して今年度の特別講演・懇親会は中止となりました。たいへん残念です。)



最先端を学べる学校

事務局長 山下 粧子(50期)

みなさんは「光陵リベラル・アーツ」をご存じですか。これは、平成25～27年度に実施されていた、光陵高校が独自に設定していた学校設定教科です。これまで必要とされてきたキーコンピテンシーの定着に加え、自ら課題を発見し解決する力が求められている今日、光陵高校では「光陵リベラル・アーツ」という教科を通じて論理的思考力およびコミュニケーション能力の育成に取り組んでいます。

なかでも私が印象に残っている科目は「光陵ユニバース(KU)」です。KUでは、研究の基礎を学ぶことはもちろん、自ら課題を設定して課題解決に向けた研究を行い、最終的には論文を作成して研究発表を行いました。現在は、総合的な学習の時間を用いてKUが行われています。

大学生になった今、光陵高校では社会で必要とされている力を先駆けて学ぶことができているのだと実感させられました。光陵高校のように総合的な学習の時間を有意義に活用できている学校はなかなかないように感じます。昨年は、この総合的な学習の時間を用いて、1年生を対象に「持続可能な開発目標(SDGs)」を題材にしたゲームが実施されました。詳しくは、会報の特集記事として取り上げているのでぜひご覧ください。

私たち50期生は今年の1月に令和最初の成人式を迎え、成人の節目に同窓会を開催しました。短い時間ではありましたが思い出話に花を咲かせ、改めて光陵生で良かったなど実感する良い機会となりました。みなさまもぜひ総会・懇親会に参加していただき、様々な期の卒業生と交流をしてみたいかがでしょうか。

最後になりましたが、会報の発刊にあたってご協力いただいたすべての方々に心より感謝申し上げます。

2019年度 総会・懇親会報告

開催日：2019年6月8日(土)

総会 @光陵高校 視聴覚室

以下の議事項目がすべて承認されましたことをご報告いたします。

①2018年度決算報告 ②2019年度予算案審議 ③2019年度役員及び監査承認

特別講演

ジャズミュージシャンの嶋津健一氏(11期)に、「私とジャズとアドリブと…」と題して、アドリブの模擬体験やPiano-Bass Duo(協力：佐藤きりん氏)によるジャズ演奏を披露していただきました。

懇親会 @RISTORANTE ATTIMO (パシフィコ横浜)

アニバーサリー期の方をはじめ、多くの会員の方々にご参加いただき盛況となりました。前回に引き続き新会場での開催となりました。

賛助金への御礼

2019年度は7名の方から計27,000円のご支援を賜りました。皆様の温かいお心遣いに深く感謝いたします。引き続き充実した同窓会運営に努めてまいりますので、今後ともご支援ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

KU新章に突入！

KU×SDGs

～「誰一人取り残さない社会」を目指して～

光陵ユニバース、通称KU^{※1}は、今や光陵の特徴の一つです。期によって様々な取り組み方をしており、筆者をはじめ51期生のKUでは、一人ひとりが興味を持っていることを研究テーマに設定し、2年間の研究を経て、最終的に一万字の論文を書きました。2019年4月に入学した54期生では、近年注目を集めているSDGs^{※2}をKUに取り入れています。しかも、この難しそうなテーマを「カードゲーム」で学んでいるというのです。一体どういうことなのか、実際に取材してきました。

体感！SDGsカードゲーム

そもそも、皆さんはSDGsを知っていますか？SDGsとは2030年までに持続可能なより良い世界を目指すための国際目標です。このSDGsをテーマとした「2030 SDGsカードゲーム」を、54期生(当時1年生)8クラス、約320名が体育館で一斉に体験しました。



〈2030 SDGsカードゲーム〉

- ・3人1組のチームに「お金」と「時間」を示すカード、「プロジェクト活動カード」、各チームの達成条件が書かれた「ゴールカード」が配付される。
 - ・「交通インフラの整備」や「学校設立への寄付」など様々なプロジェクト活動を実行するには、それぞれお金や時間が必要となるが、うまくいくと報酬としてお金と時間を得ることができる。
 - ・また、世界全体を示す指標として、「経済」「環境」「社会」があり、実現したプロジェクト内容によってそのポイントが増減する。
 - ・プロジェクト活動を行ったり、他のグループとカード交換をしたりしながら、各チームのゴール達成と、豊かな世界の実現を目指すゲーム。
- ※詳細は以下をご参照ください。
<https://imacocollabo.or.jp/games/2030sdgs/>



ゲーム前半では、各チームが自分のゴールカード達成を目指してプロジェクトを実行し続けた結果、世界全体の「経済」指標が大きく伸びる一方で、「環境」「社会」のポイントが大きく落ち

込んでいきました。しかし、中間発表でファシリテーター(司会進行役)が世界の状況をクラス全体に説明すると、生徒たちの行動に変化が生まれ始めます。

ゲーム後半では、チームとチームの間で積極的に声を掛け合いながら、「経済」「環境」「社会」の3つの指標をバランスよく伸ばそうと協力していました。その結果、多くのクラスが各チームのゴールと豊かな世界、どちらも達成することができました。



光陵高校で行われたSDGsカードゲームの様子

楽しいだけじゃ終わらない、光陵生の気づき

SDGsという壮大なテーマを楽しみながら学ぶことができるカードゲーム。しかし、実際にゲームを体験した生徒に話を聞いてみると、単に知識としてSDGsを学ぶだけでは得られない、重要な気づきを得ていることが見えてきました。

「自分本位の考えは危険であり、広い視野を持つことが重要だと実感した」と話すのは、弦楽部に所属する高屋さん。ゲーム前半、高屋さんのチームは、周囲よりも早くゴールカードを達成しようと思気込んでいました。しかし、途中である問題に気が付いたそうです。「世界全体の『環境』の指標が減少していくことに危機感を覚えたんです。そこで、ゲーム後半はクラス全員がゴールを達成するために、他のチームとも積極的にコミュニケーションをとりました」。

一方、ハンドボール部の池田さんは「ゲームの途中で自分のチー

※1 光陵高校の「総合的な探究の時間」。課題を自ら発見し、その解決に向けて主体的に探究・表現する活動を通して、思考力、判断力、表現力等を身につけ、これからの社会や時代に求められる「生きる力」を育むことを目標としています。(光陵高校HP参照)
 ※2 Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称で、「地球上の誰一人として取り残さない社会」をメインテーマとし国連サミットで採択されました。(外務省HP参照)

ムがゴールを達成できないと気付いた」そうです。しかし、「一つでも多くのチームがゴールを達成できるように、全体で協力しよう」と気持ちを切り替えました。うまく進んでいる他のクラスを参考にして、自分のクラスでも声を掛け合いました。池田さんはこのゲームでの体験が普段の学校生活にも生きていると話します。「クラスメイトの長所に目を向けるようになりました。それぞれの長所を生かせばクラスをもっと良くしていけると考えています」。

ゲームを通じて、「SDGsが掲げる“誰一人取り残さない”という考え方や視点が少し実感できました」と話す高屋さんと池田さんの真剣な眼差しは、未来の世界を見据えていました。

KUはここまで進化した！先生も研究の日々

そもそもKUにSDGsを取り入れたのは、どういった狙いがあるのでしょうか。副校長の蘇武先生とKU担当の清野先生に伺いました。

蘇武先生がおっしゃるには、「KUで一番重要なことのひとつは課題を自分で設定するという点です。生徒個人の興味・関心に基づく自由研究という側面だけでなく、そこにSDGsを組み合わせることで、身近な問題意識を社会課題と結び付け、自分事として取り組めるよう促しています。そうして、複雑な課題が山積するこれからの社会に求められる“生きる力”を育みたいと考えています」。

さらに驚くべきはKU全体の充実ぶりです。「54期生には、光陵入学前の春休みからSDGsに関する事前学習を行ってもらいました。入学後はテーマ毎のゼミに分かれて研究計画書をつくり、最後は研究発表を行います。2、3年生でのキャリアプラン形成の基盤となるよう、教員も進め方を研究中です」。

今回のSDGsカードゲームを実施するにあたって、ご自身も事前にワークショップに参加したという清野先生によると、「いい意味で“もどかしさ”が残るんです。ゲームを体験した生徒の気付きや問題意識は人それぞれですが、それらがKUの研究に主体的に取り組むきっかけ、ひいては進路選択を含めたキャリア形成の一助になると考えています」。

実際、SDGsカードゲームを体験した後、「ビジネスコンテストやSDGsのワークショップにも自主的に参加するようになった」という池田さん。「進路を考える上でも理系や文系という枠にとらわれず、自分の興味があることを広い視野で考えていきたい」



KUでの学びについて語っていただいた皆さん
(左から清野先生、蘇武先生、池田さん、高屋さん)

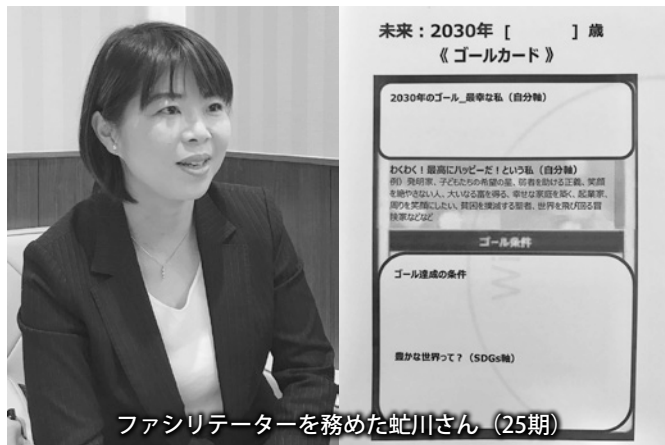
ファシリテーターは卒業生、後輩へのメッセージ

実は今回、SDGsゲームがKUの教材として取り入れられた背景には、一人の卒業生の存在がありました。当日、ファシリテーター

を務めた虻川真紀さん(25期)です。キャリア講師として活躍されている虻川さんは、光陵のキャリアガイダンスに登壇したことがきっかけで、今回のワークショップを先生方と企画することになりました。

一般向けにもSDGsゲームのワークショップを開いている虻川さん。54期の後輩たちの様子をこう振り返ります。「どの生徒も真剣に楽しんで取り組んでいた印象です。アンケートからも、自分と世界がつながっている、小さなことから取り組んでいく、一人でできないこともみんなと協力すれば解決できる、取り残されている人がいないか視野を広げることが大事、といった気づきがあったようです。もちろん、全員が、すぐに気づきを得られるとは限りませんが、この体験は将来どこかで必ず生きると思っています」。

ゲーム後に行うキャリアビジョンワークも仕掛けの一つ。生徒たちは2030年の自分自身のゴールを設定し、そのために行う行動をSDGsと関連付けながら考えます。「自分たちの日々の行動は目先のことでだけでなく、その先の社会までつながっているという意識を顕在化させ、探究し続けてほしいと考えています。光陵のスローガンは“心やさしき社会のリーダー”。SDGsが掲げる“誰一人取り残さない社会”を目指すために、自分がどうありたいか考えるきっかけになればと思います」。



ファシリテーターを務めた虻川さん(25期)

取材を終えて～母校の進化を肌で感じる～

今回の取材を通じて実感したことは、社会の変化に応じて光陵での学びも進化し続けているということです。実は、総合的な探究の時間にSDGsを取り入れる動きは、神奈川県教育委員会を中心に進み始めています。ところが、光陵ではその動きとは全く別に、現場の先生方が重要性を認識してKUにSDGsを取り入れていたそうです。生徒のために日々努力を惜しまない先生方と、それに応じて真剣に取り組む生徒が光陵をつくっているのだと、あらためて感じました。

また、卒業生の虻川さんがファシリテーターとして、後輩たちの学びを支えていらっしゃる姿も非常に印象的でした。学びの幅が広がる中で、卒業生と母校の関わり方にも様々な可能性が生まれるかもしれません。光陵会ではキャリアガイダンスを中心に、引き続き貢献していきたいと考えています。

今回、取材に応じてくれた54期の高屋さんと池田さんの姿を見て頼もしさと同時に、我々卒業生も負けていられないと感じました。皆さんも現役光陵生が体験したSDGsカードゲームのワークショップに参加して、世界を広げてみませんか？

(51期 櫻井悠貴、43期 山本航介)

◆ 1期生卒業50年記念特集 ◆ ～卒業50年を迎えた光陵への想い～

前身となる立野高校山手分校設立から今年で54年を迎えた光陵高校。3月に52期生が卒業し、3年間勉学、部活動、学校行事に励んだ学び舎を巣立ちました。その最初の卒業生である1期生は昨年、卒業50年を迎えました。数多の時代の変遷をたどった1期生は、卒業から半世紀たった今、光陵にどのような思いを寄せているのでしょうか。本稿では、1期生3名の方に現在の率直なお気持ち、光陵会へのメッセージを寄せていただきました。(51期 松森美春)

✿ 高木展郎さん(1組)

街で光陵高校の制服を着ている生徒さんを見かけると、50年という歳月が昨日のように想い起こされる。入学の時と卒業の時とで学校名は変わり、校旗や校章も変わった。場所も立野から樫太坂に変わった。卒業の時に、国語を教えていただいた石渡比泥夫先生作詞の校歌もできた。「光は希望」を胸にして卒業し、50年が経った。

学校ができて半世紀、多くの卒業生が社会で活躍するように

なっている。光陵高校の制服を着、校旗を仰ぎ、そして校歌を共に唄うことは、時代を超えて脈々とつながっている。「われらここに」「生」き、「励」み、「育」った。伝統は、引き継ぐだけでなく、新たな未来を創出することに意味がある。未来社会は、これまでの社会と大きく異なることが予想される。歴史を顧みるだけでなく、新たな未来を光陵生が創出することに期待している。

✿ 千葉孝さん(1組)

「1期生もいるぞ!」との勝手な思いで毎年光陵会に参加しています。伝統校の同窓会では高齢の大先輩方が居並んでいるようですが我ら光陵会は違います。総会でも懇親会でも現役の学生さんが運営を任されています。太田会長が「学生たちが頑張ってくれています」と褒めている言葉通り若い力が活躍しています。社会人の先輩方の指導やアドバイスを受けながら様々な活動の中で年齢の差もなく自由に意見や情報を交換し、学校では学べない社会性を体得して立派な光陵人に育っています。そのため社会人に

なってからも後輩スタッフのお手伝いをしている方も多数いるようです。一緒に高校生活を過ごしていない卒業生が年次の差もなく楽しく集える雰囲気まさに50年たっても感じられる「光陵」の伝統なのかなと思います。

今年もまた5月30日に光陵会総会が開催されますので、是非とも光陵会に参加して後輩たちにエールを送ってあげてください。私もまた新たな出会いを楽しみに今年も足を運びます。

✿ 田中洋子さん(2組)

半世紀前の1期生修学旅行の1コマです。「山手分校」の表示を見たガイドさん、これは山奥の分校生だと早合点、「皆さん収穫は済んだんですか?」私たち「??」。「校歌を紹介してください!」とのリクエストにないとは言えず「トンボのメガネは水色メガネ～」で見事応えました。山手分校生として入学した1期生は卒業時光陵高校生、本当にユニークな経験をしました。

それから50年、記念式典に出席し素晴らしい発展に驚くばかり

でした。以来、学校とのご縁ができ昨年はNPO日本わらべうた協会理事長の立場でキャリアガイダンスの講師として生徒の皆さんとお会いし、1期アニバーサリー同窓会にも参加しました。光陵祭では「伝えよう、わらべうた」の企画で参加させていただき今はすっかり「光陵大好き人間」です。行事ごとには後輩から届く様々な声は私共の活動の大きな励みでありパワーとなっています。今後も光陵の発展に微力ながら応援を続けていこうと思います。

「卒業生からの便り」

- ・来年はいよいよ私達の卒業50年のアニバーサリー期なので、一人でも多くの仲間が参加してくれるのを期待しています。(2期 男性)
- ・昨年は7期16組のクラス会を40年ぶりにやり、たくさんの方にご参加いただきました。みんなちっとも変わりません。またお会いしたいです。(7期 女性)
- ・昨年、久しぶりに出席した特別講演が楽しかった。多様な人材が集まる母校を誇りに思います。(11期 女性)
- ・高校時代、授業中に騒いだりバイクで事故ったりと周りに迷惑ばかりかけていたので、せめてもの罪滅ぼしと協力金に協力しています。(14期 男性)
- ・光陵での友人たちと先日四半世紀ぶりに会いました。人生百年時代、後半戦もよろしくね、と話に華が咲きました。(15期 女性)
- ・同期・同窓の仲間が光陵会から消えていくのは淋しい限りです。参加者が増える企画を考えていきましょう。総会はそのような内容を期待致します。(16期 男性)
- ・昨年10月にクラス同窓会があり、年月を経て幹事の方々にただただ感謝です。(21期 女性)
- ・横だけでなく「縦」にOB・OG・現役世代を絡んでいただけるような企画を望んでいます。(28期 男性)
- ・昨年はアニバーサリー期で、懇親会に参加させて頂き、懐かしい先生に

- も会え、とても有意義な時間を過ごさせて頂きました。(30期 女性)
- ・会報を楽しく拝読しています。光陵生時代を懐かしく思い出し、タイムスリップした気分です。(33期 女性)
- ・結婚式の準備で当時の写真を見て、懐かしい気持ちになりました。(43期 女性)
- ・校舎がプレハブになったのみならず、学校周辺の景色もガラリと変わっているのを見ました。私も光陵から羽ばたいて大人になったことを実感しました。(50期 女性)
- ・先日(令和元年5月19日)光陵生2期生の会に出席しました。34人の参加でした。旧職員は私だけ。21年間も在職した私、7歳しか差のない生徒と話して特に楽しかった。(旧職員 男性)
- ・今年度、光陵高校に副校長として着任した蘇武です。10年ぶりに戻ってまいりました。皆様よろしく願いいたします。(現職員)

「ご意見募集のお知らせ」

光陵会では会員の皆様のご意見・ご感想を、同封の総会出欠ハガキで募集しております。光陵高校で過ごした思い出や会報を読んで思い出されたことなど、ぜひお聞かせください。来年度の『ごんた坂』で一部をご紹介しますいただきます。

光陵の教壇に立ってみませんか？

～ キャリアガイダンス講師募集のお知らせ ～

光陵高校では毎年3月に、1・2年生対象の「キャリアガイダンス」というプログラムを実施しています。キャリアガイダンスとは、さまざまな分野で活躍する卒業生が、仕事の内容や進路選択の過程を現役生にお話しし、将来のキャリア形成に役立ててもらおうというものです。

2019年度は、大変残念ながら新型コロナウイルスの影響で開催中止となりましたが、例年、多くの卒業生にご協力いただいています。幅広い業種に従事する講師らが高校時代の体験談を交えて熱く語る講義は、現役生にとって将来のキャリアを考えるきっかけになるとともに、社会に出た光陵の先輩とのつながりを感じられる貴重な機会です。また、講師同士が異業種交流を通じて光陵の絆を再確認する場ともなっています。

光陵会は講師をしていただく卒業生を光陵高校にご紹介する形で、このプログラムに協力しています。趣旨に賛同していただき、講師としての参加に関心のある方はぜひ「光陵高校内光陵会」(住所：保土ヶ谷区権太坂1-7-1、メールアドレス：staff@koryokai.jp)までご連絡ください。

また、光陵会では卒業生にご職業などの人材情報を登録していただく「光陵卒業生人材バンク」を運営しております。人材バンクの情報はキャリアガイダンスへの講師紹介などに活用させていただきます。ご協力いただける方はぜひ上記連絡先までご連絡ください。



寄贈事業報告

光陵会では毎年、光陵高校に寄贈を行っております。2019年度は、①部活動の実績を称える横断幕、②学芸音楽祭トロフィーの2点を寄贈しました。どちらも光陵生の益々の活躍を祈って寄贈させていただいたものです。今後も有意義な寄贈が行えるよう取り組んでまいりますので、会員の皆様のご意見・ご要望がございましたら、ぜひ同封のハガキでお寄せいただけますと幸いです。



会報発行協力金のお願い

会報発行協力金にご協力いただき、誠にありがとうございます。

本会報の発行は2009年から名簿委託業者である㈱サラトとの共同事業とし、会報発行費用は独立採算制となっております。会員の皆様には、会報発行費用について賛助協力金として1口2,000円をお願いしております。本年度もコンビニエンスストアで決済可能な振込用紙を、失礼を承知の上で同封させていただきました。

光陵会事務局は今後も存続し、母校への発展寄与のため力を尽くしてまいりたいと一同強く願っております。何卒、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。また、従来からお願いをさせていただいております光陵会への直接の賛助金も受け付けておりますが、これを機会にぜひ会報発行協力金にご賛同いただけますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

※会報発行協力金は発行費用を上回ります賛助協力金をいただけた場合、その8割が光陵会への賛助となります。

※同封の振込用紙は、郵便振込を利用されますと金額の訂正が可能となります。コンビニエンスストアを利用される場合は一律2,000円となりますのでご注意ください。

2020年度入試 進路速報(2020年3月31日現在)

※ 今年度の最終結果は、光陵高校の公式 HP をご覧ください。
(URL : <https://www.pen-kanagawa.ed.jp/koryo-h/shinro/shinro.html>)

1. 全体的な状況

(1) 令和2年3月卒業生

卒業生数	315
就職者数	0
進学希望者数	315
同上の割合	100%
卒業生数	315
合格者実数	253
同上の割合	80.3%

(2) 過年度卒業生

延合格者数	161
-------	-----

2. 進路状況(合格者数)

(1) 国公立大学

学 校 名	令和2年 総数	令和2年 現役	平成31年 総数	平成31年 現役	平成30年 総数	平成30年 現役
北海道教育大学(旭川)					1	1
帯広畜産大学			1			
岩手大学			1	1		
福島大学					1	1
茨城大学			1	1	1	
宇都宮大学					1	1
埼玉大学	2	1	3	3	1	
千葉大学	1				3	2
お茶の水女子大学			1	1		
東京医科歯科大学	1					
東京海洋大学	2	2	1			
東京外国語大学			1	1	4	3
東京学芸大学	3		3	3	1	
東京工業大学	1	1			2	1
東京農工大学			1	1		
一橋大学			2	2		
横浜国立大学	12	11	11	10	13	10
長岡技術科学大学					1	1
静岡大学	1		1	1	2	1
信州大学	1	1	2	1	1	1
金沢大学			1			
名古屋大学					1	1
京都工芸繊維大学	1					
大阪大学	1	1	1		2	
山口大学	1					
高知大学					2	1
琉球大学	1					
はこだて未来大学			1	1		
岩手県立大学			1	1		
高崎経済大学			1			
東京都立大学	1	1	6	3	6	5
神奈川県立保健福祉大学	6	5	1	1	4	4
横浜市立大学	10	10	9	8	12	10

都留文科大学	1	1			1	
名古屋大学			1	1		
北九州市立大学			1			
合 計	46	34	52	40	60	43

(2) 私立大学

学 校 名	令和2年 総数	令和2年 現役	平成31年 総数	平成31年 現役	平成30年 総数	平成30年 現役
北海道医療大学					1	
東北医療薬科大学(医)					1	1
国際医療福祉大学	3	1	1	1	2	2
獨協大学	1	1	1	1	2	1
獨協医科大学					1	
文教大学	3	3	1	1	1	1
千葉工業大学	1	1	1	1		
東洋学園大学			1	1		
明海大学	1	1				
和洋女子大学			1			
青山学院大学	26	23	36	29	36	24
亜細亜大学	1	1	2			
跡見学園女子大学	1					
桜美林大学	5	4	5	5	4	4
大妻女子大学			3	1	1	1
学習院大学	11	9	13	10	21	20
学習院女子大学	1		3	1		
北里大学	14	11	14	12	12	8
共立女子大学	7	7	3	3	1	1
杏林大学	1	1	3	3	1	1
杏林大学(医)					2	
慶應義塾大学	9	9	12	11	18	15
恵泉女子学園大学			3	3		
工学院大学	7	7	5	4	6	4
國學院大学	12	7	24	20	21	13
国土館大学	2	2	4	3	1	1
こども教育宝仙大学					1	1
駒澤大学	23	19	21	17	17	15
駒澤女子大学					3	3
実践女子大学			3	3	1	
芝浦工業大学	15	9	27	23	26	16
順天堂大学			4	4	2	2
上智大学	19	16	13	11	18	11
昭和大学	2	2	2	2	3	2
昭和音楽大学	1	1	2	2		
昭和女子大学	5	3	8	4	8	7
昭和薬科大学	4	4	2	2	1	
白百合女子大学			2		1	1
成蹊大学	4	4	2	2	1	1
成城大学	9	6	7	7	11	9
聖心女子大学			6	5		
清泉女子大学	1	1	4	4	1	1
専修大学	23	23	31	26	6	6
大正大学	2	1	1		1	1

大東文化大学			1	1		
高千穂大学			1			
拓殖大学	1	1	3	3	6	6
玉川大学	4	4	3	3	6	6
多摩大学	2				2	2
多摩美術大学	2	2	3	3	4	4
中央大学	33	31	52	45	43	37
津田塾大学	1		2	1	2	2
帝京大学	10	9	4	3	6	5
帝京科学大学	1	1			2	2
帝京平成大学			1	1	3	3
デジタルハリウッド大学	2	2				
東海大学	18	13	9	7	31	16
東京医科大学			1	1		
東京医療保健大学					1	1
東京音楽大学	1	1	2	1		
東京家政大学	3	2	2	2	3	2
東京経済大学			2	2		
東京工科大学	4	2	9	6	4	4
東京工芸大学	3	3	1	1	2	1
東京歯科大学					1	
東京慈恵会医科大学			1	1		
東京女子大学			8	6	8	7
東京成徳大学					1	1
東京造形大学			2	2		
東京電機大学	7	4	15	14	4	4
東京都市大学	24	15	38	29	32	20
東京農業大学	12	5	18	13	32	22
東京福祉大学			1	1		
東京薬科大学	2	1	1	1	2	1
東京理科大学	17	13	24	16	28	22
東洋大学	25	22	17	12	36	28
東邦大学	1	1	3	2		
東邦大学(医)					1	
二松学舎大学					1	1
日本大学	63	52	70	64	101	78
日本社会事業大学	1					
日本獣医生命科学大学	2	2				
日本女子大学	4	1			2	2
日本赤十字看護大学	2	2	14	13	10	7
日本体育大学			2	2	1	1
文京学院大学					7	7
法政大学	45	36	48	41	71	52
星薬科大学	1	1	2	1	1	
武蔵大学	4	3	1	1	4	1
武蔵野大学	4	4	4	2	3	3
武蔵野美術大学			3	3		
明治大学	80	69	75	70	85	60
明治学院大学	43	39	36	32	37	32
明治薬科大学			1	1	1	1
明星大学	3	2			2	2
目白大学	1	1				

立教大学	45	40	46	42	37	28
立正大学	4	3	3	3	2	2
和光大学			1	1	1	1
早稲田大学	28	23	28	24	36	23
洗足学園音楽大学			1			
麻布大学	3	3	5	5	3	2
神奈川大学	51	47	51	43	38	32
神奈川工科大学	3	3	2	2	3	2
鎌倉女子大学	4	4	3	1	1	1
関東学院大学	8	8	16	15	12	8
産業能率大学	8	7	5	5	6	6
鶴見大学					1	1
相模女子大学			2	2	3	3
湘南医療大学	1	1	1	1	1	
湘南工科大学	9	5				
桐蔭横浜大学	1	1	2	2		
東洋英和女学院大学	5	3	1	1	1	1
フェリス学院大学	4	4	5	4	1	1
横浜薬科大学	3	3	2	2	4	1
女子美術大学					1	1
近畿大学			1	1	3	1
京都女子大学	1	1				
関西大学			1	1		
関西外国語大学	3	3	1	1		
関西学院大学	2	2	1	1		
同志社女子大学			1	1		
立命館大学	2		3	2	6	
立命館アジア大学	1	1	3		2	1
合 計	826	683	933	786	973	722

(3) その他

学 校 名	令和2年 総数	令和2年 現役	平成31年 総数	平成31年 現役	平成30年 総数	平成30年 現役
ニューヨーク州立大学					1	1
川崎市立看護短期大学	1	1	1	1		
聖セシリア短期大学					1	1
自由が丘産能短期大学					1	
平塚看護大学校					1	1
国学院大学北海道短期大学部	1					
聖ヶ丘教育福祉専門学校			1			
日本工科大学専門学校					1	1
大原法律専門学校					1	1
横浜ビューティフル専門学校					1	1
湘南生命科学専門学校			1			
情報科学専門学校					1	1
東京スクールオブミュージック			1	1		
神田外語学院	1	1				
東京工学院専門学校	1	1				
東京経済カレッジ専門学校	1					
文化服飾学院	1	1				
ヴィーナスアカデミー	1	1				
合 計	7	5	5	3	8	7

2019年度 部活動の主な成績

部 活	大会名と結果
サ ッ カ ー	関東大会県2次予選出場
陸 上 競 技	関東高校総体出場 関東選抜新人出場
男子バレーボール	県新人大会ベスト32
ダ ン ス	日本ダンス大会(全国大会) 出場 日本高校ダンス部選手権全国大会出場
卓 球	県総体女子学校対抗ベスト32 県新人大会女子学校対抗ベスト32
科 学	全国高等学校総合文化祭出場 神奈川県高等学校総合文化祭 理科部研究発表大会 青少年センター館長賞
美 術	かながわ環境ポスターコンクール奨励賞受賞
文 芸	関東高等学校文化祭群馬大会出場
囲 碁	全国高等学校囲碁選抜大会出場
英 語	令和元年度神奈川県高等学校英語スピーチコンテスト本選出場
書道同好会	高文連書道展特選 神奈川県美術展中高生の部入選
ス キ ー	神奈川県高等学校スキー大会2位

教 職 員 異 動

2018年度 離・退任者

氏 名	教 科	転出先
松本 哲	保健体育	退職
池田真理子	司 書	退職
鷹 簗 迪	英 語	退職
岸川 浩幸	国 語	厚木西高校
佐々木澄子	英 語	金井高校
長島 裕太	国 語	舞岡高校
小野寺健太	数 学	新栄高校

氏 名	教 科	転出先
山田麻奈未	数 学	鶴見総合高校
中山 拓哉	理 科	平塚江南高校
川村 太志	保健体育	川崎北高校
清水 雄	英 語	高浜高校
一寸木紀子	養 護	湘南台高校
田島 和之	保健体育	永谷高校
伊東 隆		鶴嶺高校

2019年度 新着任者

氏 名	教 科	前任校
小島 淳子	数 学	住吉高校
蘇武 和成	数 学	高校教育課
宮崎 哲生	国 語	金井高校
吉田 大助	数 学	附属横浜中
高木 紀	数 学	大和東高校
寺嶋 千博	理 科	城山高校
小山 歩美	理 科	新採用
柳田 章太	保健体育	大師高校
小本 崇広	英 語	綾瀬高校

氏 名	教 科	前任校
久保 萌香	英 語	新採用
山根 悦子	養 護	城郷高校
田辺 豊	保健体育	神奈川工業高校
庄司 大祐	数 学	舞岡高校
金成つね美	英 語	保土ヶ谷高校
福田恵美子	英 語	平沼高校
青山 亮子		県立図書館
石崎 和樹		湘南台高校

会員名簿の取扱いについて

光陵会では、2020年9月に会員名簿の発刊を予定しております。光陵会では会員以外に会員名簿を配布することは一切なく、会員各位の情報が外部に漏れることのないよう、プライバシーマーク取得企業で名簿委託業者の(株)サルトとともに厳重に管理しております。皆さまも名簿の取扱いには十分ご注意ください、外部への流出がないよう、ご配慮ください。

また、昨今、光陵会の名を騙り、会員の皆さまの勤務先への問い合わせや勧誘・物品販売などが行われているようですが、これらは光陵会とは一切関係ございません。内容を確認の上、適切に対応くださいますようお願い申し上げます。

なお、会員名簿のご購入を希望される方は下記までお問い合わせください。光陵会事務局からお手続きの詳細の連絡をさせていただきます。事務局の定例作業等での対応となりますため、お手続きには、1ヵ月程度のお時間をいただく場合がございます。期間の余裕をもってご連絡いただけますと幸いです。なお、会員名簿の販売は、原則お一人様一冊までとなります。

宛先:「光陵会事務局メールアドレス」 staff@koryokai.jp

同窓生向け SNSのご案内

卒業後の交流の場として同窓生向けSNSが運営されています。加入希望、お問い合わせは下記へお願いいたします。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

URL: <http://www.koryo.gr.jp/sns/>
MAIL: koryo-kai-request@koryo.gr.jp
運営: 光陵会メーリングリスト ([koryo.gr.jp](http://www.koryo.gr.jp))

♪ 青春かながわ校歌祭のお知らせ ♪

15回目を迎える青春かながわ校歌祭、光陵会は今年も参加します。例年、練習会を行っていますが、本番当日のみの参加も歓迎します。練習日の予定や参加費など、詳細はホームページ等でお知らせします。お問い合わせは光陵会スタッフ (staff@koryokai.jp) まで。

～開催案内～

日 時: 2020年10月10日 (土)
会 場: よこすか芸術劇場 (横須賀市本町3-27)
主 催: かながわ校歌振興会
共 催: 神奈川県教育委員会

会計報告

2019年度決算

(2019/03/01～2020/02/29)

(収入の部)

入会費・終身会費	¥3,010,000
懇親会会費	¥526,000
賛助金	¥84,000
名簿売上	¥7,000
その他	¥68,703
前年度繰越金	¥21,526,640
合 計	¥25,222,343

(支出の部)

通信費	¥164,483
事務費	¥25,359
運営費	¥466,999
交通費	¥113,216
総会懇親会費	¥562,460
HP運用費	¥23,760
会報費	¥0
校歌祭費	¥43,000
光陵祭費	¥32,408
高校寄付費	¥138,487
設備予備費	¥17,750
合 計	¥1,587,922
収支差額	¥23,634,421

2020年度予算案

(2020/03/01～2021/02/28)

(収入の部)

入会費・終身会費	¥3,050,000
懇親会会費	¥0
前年度繰越金	¥23,634,421
合 計	¥26,684,421

(支出の部)

通信費	¥300,000
事務費	¥30,000
運営費	¥600,000
交通費	¥200,000
総会懇親会費	¥50,000
HP運用費	¥50,000
会報費	¥500,000
校歌祭費	¥80,000
光陵祭費	¥80,000
高校寄付費	¥200,000
設備予備費	¥250,000
合 計	¥2,340,000
収支差額	¥24,344,421

2019年度光陵会役員・監査・事務局

会 長	太田 秀和 (2期)	
副 会 長	大道 正夫 (4期)	山本 勉 (4期)
	茅野 憲 (7期)	中濱こずえ (9期)
	藤原 真人 (22期)	
理 事	荒木 宏之 (19期)	蛇川 真紀 (25期)
	藤原 直人 (31期)	高橋 芳昌 (33期)
	増田 祐徳 (36期)	金子 周平 (38期)
	阿南紗智子 (41期)	坂倉 楓 (42期)
	藤居 悠人 (43期)	山本 航介 (43期)
	佐藤 昌 (44期)	
会 計	菊名 直人 (42期)	大塚 美咲 (47期)
	中村 風沙 (49期)	櫻井 悠貴 (51期)
	山井 若菜 (51期)	
監 査	上原 武 (25期)	播口 陽介 (36期)
	柘植 貴之 (41期)	村上 将 (45期)
	長尾沙津季 (46期)	
事務局長	山下 粧子 (50期)	
副 局 長	萬 紗帆 (46期)	飯田 雅大 (47期)
	片野 瞳 (51期)	藤澤 優樹 (51期)
書 記	加藤 圭祐 (49期)	直井 紀子 (50期)
	松森 美春 (51期)	福田 萌愛 (51期)

2020年度光陵会役員・監査・事務局

会 長	太田 秀和 (2期)	
副 会 長	大道 正夫 (4期)	山本 勉 (4期)
	茅野 憲 (7期)	中濱こずえ (9期)
	藤原 直人 (31期)	
理 事	荒木 宏之 (19期)	蛇川 真紀 (25期)
	高橋 芳昌 (33期)	増田 祐徳 (36期)
	金子 周平 (38期)	阿南紗智子 (41期)
	坂倉 楓 (42期)	藤居 悠人 (43期)
	山本 航介 (43期)	佐藤 昌 (44期)
会 計	菊名 直人 (42期)	大塚 美咲 (47期)
	櫻井 悠貴 (51期)	山井 若菜 (51期)
	于 棋棋 (52期)	柿本亜路真 (52期)
監 査	上原 武 (25期)	柘植 貴之 (41期)
	村上 将 (45期)	長尾沙津季 (46期)
	萬 紗帆 (46期)	
事務局長	山下 粧子 (50期)	
副 局 長	飯田 雅大 (47期)	中村 風沙 (49期)
	加藤 圭祐 (49期)	高橋 歩希 (52期)
書 記	岡戸 栞 (51期)	関野 真由 (51期)
	松森 美春 (51期)	吉川 佳歩 (52期)

2020年度 光陵会総会のご案内

2020年 5月30日(土)

新型コロナウイルスの影響に伴う 特別講演、懇親会の中止について

光陵会では、2020年3月時点の新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、会員の皆さまの安全を最優先に考えた結果、総会のみ外部会場での開催とし、特別講演と懇親会の開催は中止とすることといたしました。

総会は光陵会の人事・予算等を決定し、会の運営を行うために開催は必須となりますが、光陵高校から総会の学校開催を見送るよう要請があったため、今年度は外部会場での開催となります。

特別講演と懇親会は感染拡大のリスクが高いことや、先行きが不透明な中で、会報発行後に急遽中止となってしまうと会員の皆さまに多大なご迷惑をおかけしてしまうことから、3月時点で中止の判断をすることといたしました。

光陵会事務局としても、1年に1回、会員の皆さまとお会いできる貴重な機会を中止せざるを得ないことは、大変残念でありませんが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

総会は例年どおり、以下の議事に関して決議及び報告を行う予定です。ご出席いただける方は、ぜひお気を付けてご来場ください。

なお、今後の感染拡大状況により総会を中止・延期する場合には、光陵会ホームページにてお知らせいたします。

総

会

15:30 ~ 16:30 (15:00受付開始)

場 所: 関内駅前「スマートレンタルスペース」belle 関内601
(横浜市中区蓬萊町1-1-3)

会 費: 無料

会場アクセス: JR京浜東北線関内駅徒歩2分
ブルーライン関内駅徒歩4分
みなとみらい線日本大通り駅徒歩10分
※お車でのご来場はご遠慮ください。

〈議事次第(予定)〉

- ① 2019年度決算報告
- ② 2020年度予算案審議
- ③ 2020年度役員及び監査承認
- ④ 事務局活動報告等



ご出欠の連絡について

お手数ではございますが、ご都合のほどを同封のハガキで5月15日(金)までにお知らせください。また、当日の飛び込み参加も歓迎いたします。その場合には、以下のメールアドレスにご連絡いただければ幸いです。

ご不明な点がございましたら以下までご連絡ください。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

光陵会ホームページ: <http://koryokai.jp/>

メールアドレス: staff@koryokai.jp